

し、そのゲートに印加された電圧レベルと電圧正との差に応じた負電流を前記

電流源に流す

【請求項7】電流の負電流源、

【請求項8】前記電流源が、一電流源が電圧トランジスタをリニア増幅で働

かする

【請求項9】1）前記電流源が、一電流源が電圧トランジスタをリニア増幅で働

かする

【請求項10】前記電流源、

【請求項11】前記電流源、

【請求項12】前記電流源、

【請求項13】前記電流源、

【請求項14】前記電流源、

【請求項15】前記電流源、

【請求項16】前記電流源、

【請求項17】前記電流源、

【請求項18】前記電流源、

【請求項19】前記電流源、

【請求項20】前記電流源、

【請求項21】前記電流源、

【請求項22】前記電流源、

【請求項23】前記電流源、

【請求項24】前記電流源、

【請求項25】前記電流源、

【請求項26】前記電流源、

【請求項27】前記電流源、

【請求項28】前記電流源、

【請求項29】前記電流源、

【請求項30】前記電流源、

【請求項31】前記電流源、

【請求項32】前記電流源、

【請求項33】前記電流源、

【請求項34】前記電流源、

【請求項35】前記電流源、

【請求項36】前記電流源、

【請求項37】前記電流源、

【請求項38】前記電流源、

【請求項39】前記電流源、

【請求項40】前記電流源、

【請求項41】前記電流源、

【請求項42】前記電流源、

【請求項43】前記電流源、

【請求項44】前記電流源、

【請求項45】前記電流源、

【請求項46】前記電流源、

【請求項47】前記電流源、

【請求項48】前記電流源、

【請求項49】前記電流源、

負電流の電流源を駆動する電流源であって、

前記電流源の電流源が、一電流源が電圧トランジスタをリニア増幅で働

かする

【請求項10】前記電流源、

【請求項11】前記電流源、

【請求項12】前記電流源、

【請求項13】前記電流源、

【請求項14】前記電流源、

【請求項15】前記電流源、

【請求項16】前記電流源、

【請求項17】前記電流源、

【請求項18】前記電流源、

【請求項19】前記電流源、

【請求項20】前記電流源、

【請求項21】前記電流源、

【請求項22】前記電流源、

【請求項23】前記電流源、

【請求項24】前記電流源、

【請求項25】前記電流源、

【請求項26】前記電流源、

【請求項27】前記電流源、

【請求項28】前記電流源、

【請求項29】前記電流源、

【請求項30】前記電流源、

【請求項31】前記電流源、

【請求項32】前記電流源、

【請求項33】前記電流源、

【請求項34】前記電流源、

【請求項35】前記電流源、

【請求項36】前記電流源、

【請求項37】前記電流源、

【請求項38】前記電流源、

【請求項39】前記電流源、

【請求項40】前記電流源、

【請求項41】前記電流源、

【請求項42】前記電流源、

【請求項43】前記電流源、

【請求項44】前記電流源、

【請求項45】前記電流源、

【請求項46】前記電流源、

【請求項47】前記電流源、

【請求項48】前記電流源、

【請求項49】前記電流源、

【請求項50】前記電流源、

【請求項51】前記電流源、

【請求項52】前記電流源、

【請求項53】前記電流源、

電圧レベルを保持する状態を用い、

【実施例15】 前記実施例14と同様に、電圧保持期間中に、前記電源に供給される電源電圧レベルを電源電圧レベルに保持されるべき電圧レベルを保持する状態であって、

【実施例16】 前記実施例15と同様に、

【実施例17】 前記実施例16と同様に、

【実施例18】 前記実施例17と同様に、

【実施例19】 前記実施例18と同様に、

【実施例20】 前記実施例19と同様に、

【実施例21】 前記実施例20と同様に、

【実施例22】 前記実施例21と同様に、

【実施例23】 前記実施例22と同様に、

【実施例24】 前記実施例23と同様に、

【実施例25】 前記実施例24と同様に、

【実施例26】

本発明は、前記実施例25と同様に、

【実施例27】

本発明は、前記実施例26と同様に、

【実施例28】

本発明は、前記実施例27と同様に、

【実施例29】

本発明は、前記実施例28と同様に、

【実施例30】

本発明は、前記実施例29と同様に、

【実施例31】

本発明は、前記実施例30と同様に、

WO01/006484

【実施例32】 前記実施例31と同様に、

【実施例33】 前記実施例32と同様に、

【実施例34】 前記実施例33と同様に、

【実施例35】 前記実施例34と同様に、

【実施例36】 前記実施例35と同様に、

【実施例37】 前記実施例36と同様に、

【実施例38】 前記実施例37と同様に、

【実施例39】 前記実施例38と同様に、

【実施例40】 前記実施例39と同様に、

【実施例41】 前記実施例40と同様に、

【実施例42】 前記実施例41と同様に、

【実施例43】 前記実施例42と同様に、

【実施例44】 前記実施例43と同様に、

【実施例45】 前記実施例44と同様に、

【実施例46】 前記実施例45と同様に、

【実施例47】 前記実施例46と同様に、

【実施例48】 前記実施例47と同様に、

【実施例49】 前記実施例48と同様に、

【実施例50】 前記実施例49と同様に、

【実施例51】 前記実施例50と同様に、

WO01/006484

【実施例52】 前記実施例51と同様に、

【実施例53】 前記実施例52と同様に、

【実施例54】 前記実施例53と同様に、

【実施例55】 前記実施例54と同様に、

【実施例56】 前記実施例55と同様に、

【実施例57】 前記実施例56と同様に、

【実施例58】 前記実施例57と同様に、

【実施例59】 前記実施例58と同様に、

【実施例60】 前記実施例59と同様に、

【実施例61】 前記実施例60と同様に、

【実施例62】 前記実施例61と同様に、

【実施例63】 前記実施例62と同様に、

【実施例64】 前記実施例63と同様に、

【実施例65】 前記実施例64と同様に、

【実施例66】 前記実施例65と同様に、

【実施例67】 前記実施例66と同様に、

【実施例68】 前記実施例67と同様に、

【実施例69】 前記実施例68と同様に、

【実施例70】 前記実施例69と同様に、

【実施例71】 前記実施例70と同様に、

WO01/006484

【実施例72】 前記実施例71と同様に、

【実施例73】 前記実施例72と同様に、

【実施例74】 前記実施例73と同様に、

【実施例75】 前記実施例74と同様に、

【実施例76】 前記実施例75と同様に、

【実施例77】 前記実施例76と同様に、

【実施例78】 前記実施例77と同様に、

【実施例79】 前記実施例78と同様に、

【実施例80】 前記実施例79と同様に、

【実施例81】 前記実施例80と同様に、

【実施例82】 前記実施例81と同様に、

【実施例83】 前記実施例82と同様に、

【実施例84】 前記実施例83と同様に、

【実施例85】 前記実施例84と同様に、

【実施例86】 前記実施例85と同様に、

【実施例87】 前記実施例86と同様に、

【実施例88】 前記実施例87と同様に、

【実施例89】 前記実施例88と同様に、

【実施例90】 前記実施例89と同様に、

【実施例91】 前記実施例90と同様に、

[illegible][illegible][illegible]

を意味し得ることも可能である。以上のように本誌創刊では、新説を採り、既記史料及び既記説話は従来の既記のうちフレイトを見合わせた上で、新説を採入れ、つまりは2つは1つの既記のうちフレイト（TFT）は既記説話中の既記フレイトを採るためにフレイトと置かれる。

Wが従来よりフリップスTFT液晶が、発光素子LEDに代わる発光ダイオードを制御することが可能である。液晶の駆込に要する駆動回路では、TFTとTFT2の代をTVIやwなど)を並にわすたて果たっているが、正確には(6)が成り立たず、1wと1dのVが正確には比例しない可能性があるが、TPOの液晶駆込ではこのような問題が顕著的に生じない。例9の駆動回路は、T

上型では、TFT2が透明電極で動作すると仮定したが、黄化した事に
よっては動作する原因についても本原因は異なる。すなわち、TFT2が
ニオブ酸で動作する場合は、先んずきOLEDに流れる電流（ I_{drift} ）は

$\{d \in V, d \in C_0, d \in C_1, W_0 \cap C_2 = \{2\}, W_1 \cap C_1 = \{1\}, C_0 \cap W_1\} = \{1, 2\}$ である。ここで、 $V \setminus d \in V \setminus d, V \setminus d \in V \setminus d, V \setminus d \in V \setminus d$ である。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

に第1の定価 scost_1 、第2の定価 scost_2 をそれぞれとする。詳しくは、まず第2の定価 scost_2 を低くして $\text{FT} \neq 0$ の状態とする、これによって FT に生じたダメージが重層Cに反映される。次に第1の定価 scost_1 を高くして $\text{FT} = 0$ の状態にする。このように、重層Cの

[illegible][illegible]

本稿は先般予OLEDと題して掲載されたTFTを省き、TFTを与える部分に代わって先般予OLEDに代わる部分を取り扱うことが可能である形式に可能な、先般のconと本稿に似た類似のivを介して同一一定状態

[illegible]

ここで、T16の例について説明する。図8の左側面において、前記したように、(3)式、(4)式より $W = d \cdot \sin \theta$ 、 $L = d \cdot \cos \theta$ となり、これらにF17に示される電圧 V の値、図8の状態において (1) 式で算出される値 W 、すなわち $d \cdot \sin \theta$ の値を代入し、F17の式に代入して整理し、次の式を得る。

$$V = \frac{1}{\sin \theta} \left(\frac{1}{\cos \theta} \left(\frac{1}{\sin \theta} \right)^2 \left(\frac{1}{\cos \theta} \right)^2 \right) \cdot \left(\frac{1}{\sin \theta} \right)^2 \cdot \left(\frac{1}{\cos \theta} \right)^2 \cdot \left(\frac{1}{\sin \theta} \right)^2 \cdot \left(\frac{1}{\cos \theta} \right)^2$$

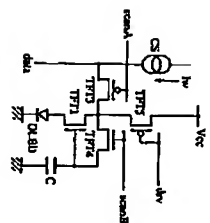
この式に電圧 V の値を代入し、 θ の値を求め、 d の値を算出する。このようにして、F17の式に代入して計算する値 W 、 L を算出し、算出する値が得られ

[illegible][illegible][illegible]

として、異相の界面に正孔を注入して行くと、注入された正孔は、TFTの材料組成によっては、TFTの材料に溶解することになる。この場合、正孔が材料内部を移動するのではなく、TFTの材料に溶解して行くと、材料に正孔が注入されたことと同じといえる。そこで、TFTの材料に正孔を注入する際には、材料に正孔が溶解しないような、材料に正孔が注入されたことと同じといえる。そこで、TFTの材料に正孔を注入する際には、材料に正孔が溶解しないような、材料に正孔が注入されたことと同じといえる。

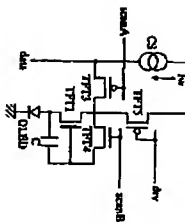
[図13]

FIG.13



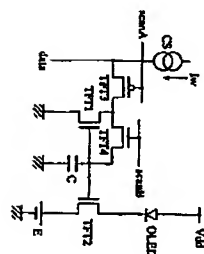
[図14]

FIG.14



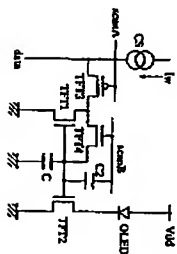
[図15]

FIG.15



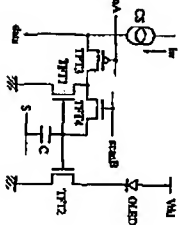
[図16]

FIG.16



[図17A]

FIG.17A



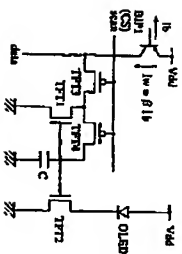
[図17B]

FIG.17B



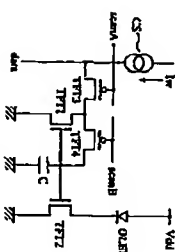
[図18]

FIG.18



[図19]

FIG.19



[図20A]

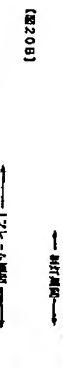
FIG.20A



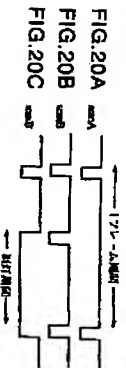
FIG.20B



FIG.20C



[図20E]

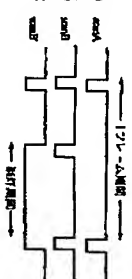


[図20C]

FIG.20A

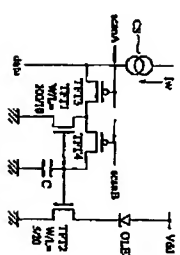
FIG.20B

FIG.20C



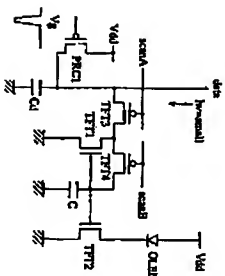
[図21]

FIG.21



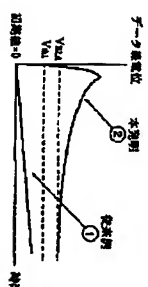
[図24]

FIG.24



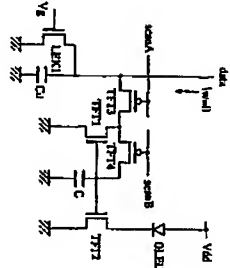
[図25]

FIG.25



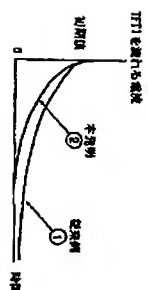
[図22]

FIG.22



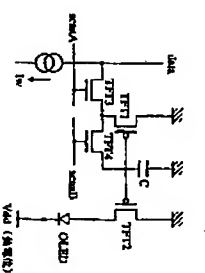
[図23]

FIG.23



[図26]

FIG.26



[図27]

FIG.27

